

# シネマズライフ

2015年3月20日発行 第79号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

たかぎ りおん  
貴樹 諒音

【最近の「これはお見事！」】『駆込み女と駆出し男』

原作が井上ひさしの時代小説の映画化。その題名が『東慶寺花だより』。しかし、この映画の題名は、

【最近の「これはまずいぞ！」】『かくらめ』

伝統芸能の『獅子神楽』お話で、漢字で書くと『神楽女』？漢字にすると硬すぎるからでしょうか？

## 映画の風景 日本の風景

※ 岡山県 森山高原 ※



第二次世界大戦中、歌を武器に自由と戦った一家を描く。ミュージカルと言えは必ずしも前が出る名曲揃いの傑作。また、もう一度大きなスクリーンで見たい映画です。映画が撮影されたのはオーストリアの山々と景勝地・ザルツカンマーグート。美しい風景を背景に歌う名曲は素晴らしい。

トランプ大佐の家は毒邸で驚くが、それにも増してトランプ大佐の前では大人しいが実はいたずら好きの子供達にびびったり。しかし、そのいたずらも父親の関心を引きたいからだとする。大佐の留守中、マリアはそんな子供達と徐々に打ち解け、子供達には素直になつていく。やがて、トランプ大佐が婚約者連れて帰る。仲のいい二人を見て、マリアは不思議な気持ちに氣づく……

『サウンド・オブ・ミュージック』という映画があった。こんな映画だ。修道女を夢見るマリアは、修行に励むが、好ききと何事も夢中になる性格が災いしていつも叱られる。ある日、また失敗してしまい、修道院長に退任軍人・ゲオルク・フォン・トラップ大佐の7人の子供達の家庭教師になる事を命じられる。

『サウンド・オブ・ミュージック』1965年 アメリカ 監督：ロバート・ワイズ 音楽：リチャード・ロジャース オスカー・ハマースタイン2世 出演：ジュリー・アンドリュース クリストファー・プラマー エレノア・パーカー リチャード・ヘイドン

映画の歌はジュリー・アンドリュースは本人、トランプ大佐のクリストファー・プラマーは吹き替え。しかし、最近の映画はほとんど本人が歌っていますね。

「ここ数年、なぜか世界・日本でも、『俺がやりたいからやる！』という考えが横行している。母国が反対しているにも関わらず、世界的に問題のある国に乗り込み、その国の無茶な行動を認める発言をする日本の元首相。国民が『民主主義』を知らない為、かつての『皇帝』のような行動をとり世界も国民も欺いているあの国この国。人の弱みにつけ込み弱点を攻め自分の思い通りにしようとするのが常套手段だ。そこには何の思いやりもなく、権力者達の欲望が渦巻いている。もちろん世界は私が考える

空爆をやるアメリカが悪い、十字軍でイスラムを虐げたヨーロッパのヤツラが悪い。だから、今・そいつらに「思い知らせてやる！」普通に見るとそんな理屈で行動しているとしか思えない。はるか昔の「隣の国」がほしいから攻めるのと同じ思考回路にみえる。ISILの『俺がやりたいからやる！』にしか見えない行動はあまりにも単純な論理だ。

「ここ数年、なぜか世界・日本でも、『俺がやりたいからやる！』という考えが横行している。母国が反対しているにも関わらず、世界的に問題のある国に乗り込み、その国の無茶な行動を認める発言をする日本の元首相。国民が『民主主義』を知らない為、かつての『皇帝』のような行動をとり世界も国民も欺いているあの国この国。人の弱みにつけ込み弱点を攻め自分の思い通りにしようとするのが常套手段だ。そこには何の思いやりもなく、権力者達の欲望が渦巻いている。もちろん世界は私が考える

「ここ数年、なぜか世界・日本でも、『俺がやりたいからやる！』という考えが横行している。母国が反対しているにも関わらず、世界的に問題のある国に乗り込み、その国の無茶な行動を認める発言をする日本の元首相。国民が『民主主義』を知らない為、かつての『皇帝』のような行動をとり世界も国民も欺いているあの国この国。人の弱みにつけ込み弱点を攻め自分の思い通りにしようとするのが常套手段だ。そこには何の思いやりもなく、権力者達の欲望が渦巻いている。もちろん世界は私が考える



「ここ数年、なぜか世界・日本でも、『俺がやりたいからやる！』という考えが横行している。母国が反対しているにも関わらず、世界的に問題のある国に乗り込み、その国の無茶な行動を認める発言をする日本の元首相。国民が『民主主義』を知らない為、かつての『皇帝』のような行動をとり世界も国民も欺いているあの国この国。人の弱みにつけ込み弱点を攻め自分の思い通りにしようとするのが常套手段だ。そこには何の思いやりもなく、権力者達の欲望が渦巻いている。もちろん世界は私が考える

「ここ数年、なぜか世界・日本でも、『俺がやりたいからやる！』という考えが横行している。母国が反対しているにも関わらず、世界的に問題のある国に乗り込み、その国の無茶な行動を認める発言をする日本の元首相。国民が『民主主義』を知らない為、かつての『皇帝』のような行動をとり世界も国民も欺いているあの国この国。人の弱みにつけ込み弱点を攻め自分の思い通りにしようとするのが常套手段だ。そこには何の思いやりもなく、権力者達の欲望が渦巻いている。もちろん世界は私が考える

☆【最近のこれはお見事！】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ！】は「これは、まずいぞ！」と思う題名を紹介しています。



CS・BS放送のオススメ映画を紹介します!

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合もあります。m(\_ \_)m

『コレクター』

スターチャンネル2

1965年 アメリカ イギリス

監督:ウィリアム・ワイラー

出演:テレンス・スタンプ サマンサ・エグガー

モナ・ウォッシュボーン モーリス・ダリモア

3月22日(日)10:00

3月26日(木)深夜 29:00 ⇒ 3月27日(金)早朝 5:00

3月30日(月)11:50 4月3日(金)18:20

4月8日(水)深夜 27:10 ⇒ 4月9日(木)早朝 3:10

4月15日(水)9:30

4月21日(火)25:50 ⇒ 4月22日(水)早朝 1:50

銀行員のフレディーの趣味は美しい蝶を集める事。ある日、思いがけない事から大金を得て、今度は美しい女性を集める事を思いつく…、つてここからしてまるっきり変態。

で・郊外に家を買ひ、準備万端整い気になっていた美術学生・ミランダを誘拐。家に監禁する。しかし、彼女に何かする訳でもなく、監禁し、彼女の好きな物を買ひ与え観察するだけ、ますます変態度が上がっている。

しかし、その不気味さにミランダは恐怖を感じる。そんなある日、意を決した彼女は…。

製作が1965年、監督はウィリアム・ワイラーで映画紹介では“純愛”と表現されている事が多いが、思えば呑気な時代だったのかもしれない。主演の二人テレンス・スタンプ、サマンサ・エグガーはカンヌ国際映画祭主演賞を受賞した。

『ヒッチコック』

スターチャンネル2

2012年 アメリカ

監督:サーシャ・ガヴァシ

原作:スティーヴン・レベロ

出演:アンソニー・ホプキンス ヘレン・ミレン

スカーレット・ヨハンソン トニ・コレット

3月24日(火)深夜 24:10 ⇒ 3月25日(水) 0:10

3月29日(日)15:20

『レベッカ』や『白い恐怖』で、サスペンス映画の名匠と言われるようになったアルフレッド・ヒッチコック。傑作『北北西に進路を取れ』の次回作に殺人鬼、エド・ゲインを選ぶが題材が題材だけに、映画会社も難色を示しうまくいかな。その上、仕事上のパートナーであり妻でもあるアルマ・レヴィルも映画製作にはいい気持ちは持っていないようだ。

そこで、ヒッチコックは屋敷を担保に入れ製作を開始するが、頼りのアルマは脚本家仲間に頼まれて別作品の脚本作りに協力。ヒッチコックはアルマと彼との不倫を疑う。その上、作品に夢中になるにつれ、エド・ゲインが目の前に現れる始末で…。

世界中をあっと言わせた『サイコ』の製作秘話。映画を見るとつくづく監督って大変だなんて思う。

☆読んで頂いてありがとうございます。よろしかったらコメント下さい。感想・お叱りお聞かせください。よろしくお願ひします! 貴樹諒音

1968年 アメリカ  
監督:ジョン・サックス  
原作/脚本:ニール・サイモン

『おかしな二人』

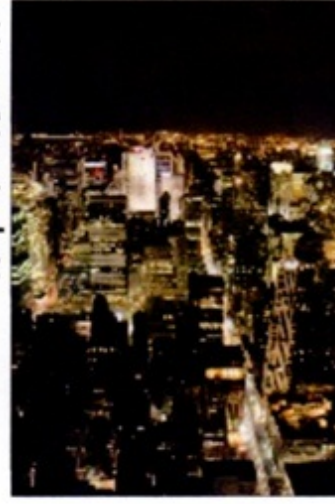
出演:ジャック・レモン フォルター・マッソー  
ジョン・フィードラー ハーブ・エデルマン  
デヴィッド・シエイナー ラリー・ヘインズ

ニール記者フェリックスが、円満だった妻と離婚した。驚いたのはポーカー仲間のオスカーと4人の仲間。円満だと思っていたし『明日は我が身』という事もあり心配だ。そこへ現れたのがフェリックスの案の定、落ち込み方が半端じゃない。みんなは危うい雰囲気のを心配する。とくにオスカーは離婚経験者で気持ちはわかる。そこでフェリックスに提案し二人の同居が始まる。ところが、オスカーは重要な事を忘れていた。フェリックスは『超』のつく『潔癖症』で、逆にオスカーは、完全な自由人で部屋を片づける事を知らない男。

で・同居が決まるとフェリックスは早速部屋の掃除が始まる。嫌な予感を感じていたオスカーだったがその予感的中して毎日口喧嘩、その上ポーカー仲間達にも汚さない事を厳命。仲間達も辟易する。

そんな中、オスカーはフェリックスに同じアパートに住む未亡人と離婚したという姉妹を部屋に招待する事を提案するが…。

プロードウェイの劇作家ニール・サイモンの傑作舞台の映画化。フェリックス演じるジャック・レモンとオスカー演じるフォルター・マッソーの絶妙な掛け合いが楽しい。仲はいいけど譲れない事もある。人間って面白い。



☆次回発行は4月3日。発行予定は第一・三金曜日です。

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie

☆シネマズライフ79号☆  
\* 発行人: 貴樹諒音 \*  
発行日: 2015年3月20日  
cinemaz-life@movie.nifty.jp  
\* 告知ブログ \*  
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/

☆3月暖かくなるの  
後少し  
皆様お休お大事に  
かしこ。



【編集後記】  
☆『おかしな二人』の余談だが、ジャック・レモンの本名はジョン・ユナーラ! レモン3世だそう。って本名にも『レモン』って付くのだそう(。°)。

